

三回目の「千田」祭、盛大に開かれる

—東千田キャンパスから—

過去二回の「千田」祭は、「若者文化の発信」「地域社会との交流」を基本コンセプトとして行われた。そして、従来の「大学祭は学生の内輪行事である」というイメージを打破し、大成功を収めた。

八月二十六日に開催された第三回「千田」祭は、青年会議所主催の「広島文化デザイン会議」からのタイアップの話から始まつた。今回の「広島文化デザイン会議」のメイン会場には本学の「千田」キャンパスが選ばれ、そのコンセプトとして「ひろしまが好きになるようなまちづくり」を掲げた。第一回、第二回の千田祭のコンセプトとして掲げられた「若者文化の発信基地」「地域社会との交流」はこのようなまちづくりには欠かせないと考え、今回タイアップする運びとなつた。

当日の具体的な企画内容としては、メイン企画として、Bite of SENDA(千田で広島まるかじり)を据えた。バザーでさまざまな国料理を味わえるようブースデュースした。

ステージでは、

「クール・ラン

ン

八月二十六日当日は、苦労の甲斐あつてたいへん多くのお客様に来ていただいた。たいへん失敗もなく終えることができ、たいへん嬉しく思っています。これも、多くの方々のご支援や先輩たちのご尽力があつたればこそ、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

また、スタッフのみんなもありがとうございました。

(千田祭実行委員会 委員長 大磯通哉)



▲「クール・ランニングス」のステージ
まるかじり

ところで、第三回「千田」祭の行われた本年は戦後五十周年。平和についてもう一度考える必要があると思い、「何んとなく、さりげなく、いつの間にか国際交流」を基本コンセプトとしたこととした。

というのは、広島は現在「国際平和文化都市」をテーマに掲げている。しかし、平和公園や原爆ドームを歩く以外はあまり国際性や平和を感じることはない。そこで「千田」キャンパスに、肌の色や言語を超えて気軽に語り合い、笑い合える空間を創り出そうと考えた。そしてその空間を体験した人たちが、我々の思いに共感し、広島の至る所で、ごく自然にこのような空間を創り出し、楽しめるようになればと思つたから。

当日の具体的な企画内容としては、メイン企画として、Bite of SENDA(千田で広島まるかじり)を据えた。バザーでさまざまな国料理を味わえるようブースデュースした。

ステージでは、

トトライアル選手権大会において、われわれ体育会自動車部は中四国地方代表として出場し、念願の優勝を成し遂げた。自動車部における競技種目は、以前は運転技術を中心としたフィギュアや整備といったものが中心であったが、近年になって、ジムカーナやダートトライアルといったスピード競技が主流となつてきている。広大自動車部の全日本大会優勝は約二十年ぶりであり、ダートトライアル大会での優勝は今回が初めてである。

昨年までダートトライアル大会は栃木県で開催されていたが、主催者側の意向で、今年は広島の会場で行われることになつた。それもあつて、昨年四位入賞を果たしている我々は、「今年こそ優勝を!」と部員一丸となつて練習に励んできた。

毎年のように勝つている慶應大や中央大が相手であるから、いくら地の利があるとはいえ不安は拭いきれず、さらに練習に練習を重ね大会に臨んだ。

その甲斐あつて、大会では個人で二位、三位を獲得し、クラブで優勝という結果が得られた。今年優勝したことでクラブ自体に弾みつき、これを来年、再来年、主力となつていく後輩たちにつなげていきたい。

ビアガーデンでは広島の姉妹都市ドイツ・ハノーバーをイメージした装飾をほどこし、たいへん好評を得た。

討論会「広大コロンブス」では、さまざまの留学生らが議論を交わした。

その他には、「ミニサッカー」「3 on 3」「NEXT-WAVE(ミニFM局)」「アートプロジェクト(廃材を使ったアート作品製作)」「ワインバトル・アフター・パトランズ(ミニボクシング)」「音楽フェスタ(バンドによる演奏企画)」「Old is Gold(骨とう品プレミア物鑑定会)」があった。

今回の開催が決定したのは五月も半ばのことで、約3ヶ月という短期間のうちにこのよう大きなイベントを企画するには、多くの時間的制約があつた。教授会に提出するために企画書を作成するのも大あわてだつた。また、「千田」キャンパスの学生ばかりなので、企画内容の変更や問題があるたびに西条キャンパスまで何度も行かねばならないといふ所的制約があつた。

八月二十六日当日は、苦労の甲斐あつてたいへん多くのお客さんに来ていただいた。たいへん失敗もなく終えることができ、たいへん嬉しく思っています。これも、多くの方々のご支援や先輩たちのご尽力があつたればこそ、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

また、スタッフのみんなもありがとうございました。

(千田祭実行委員会 委員長 大磯通哉)

自動車部、 全日本で優勝!



▲優勝決定後、愛車を囲んで記念撮影
(於 テクニックスステージ タカタ)